



日本医療機能評価機構認定病院

# 美山だより

理念

よき医療とやすらぎの環境



第35号

2016.6

社団医療法人 啓愛会

## 美山病院

〒023-0132 奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2

TEL 0197-24-2141

FAX 0197-24-2144

URL <http://www.keiaikai-miyama.jp/>

### 美山病院の基本方針

- 1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
- 2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
- 3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
- 4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
- 5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽します。

## 『2016年度、美山病院の進むべき道』



院長及川司

我が国の医療は年々厳しくなる一方で、国民の医療費は2013年度の時点ですでに40兆円を超え、国民一人当たりに換算しますと31万余円となるという発表がありました。ちなみに、2000年のそれは約30兆円です。このうち、約4割は税金で負担しますから、医療費の増加は国の財政を圧迫する大きな要因となっています。高齢化社会となりご老人が増加したことなどやむを得ない事情もありますが、諸外国と比べ我が国特有の原因があるようです。それは、病床数が多く在院日数が長いこと、薬の価格が高く使用量が多いこと、また、患者の受診回数が多いことなどです。このような状況に対し、国は様々な政策をとってきました。たとえば、入院日数の短い急性期病院には診療報酬加算を手厚く付けたり（在院日数が短いと病院の収入が増える。逆に長いと病院の持ち出しになる）ジェネリック薬品を使う病院に加算をつける、大病院指向の患者さんからは料金を多く徴収するなどが行われています。また、当院のような慢性期病院では疾病や症状により患者さんをより厳しく区分し入院収入に差をつけることで、安定した患者さんを長く入院させると病院の減収になるようにしました。もとより、医療は営利を目的とするものではありませんが、政府の方針に逆らう診療を続けると、病院は立ち行かなくなってしまいます。

さて、このような厳しい医療環境の中で、当院はどう歩んだらよいのでしょうか。

結論を先に述べます。今まで通り方針は何も変わりません。つまり、十分本人や家族と話し合い、常に患者さんにとって一番良いと思われる方法を選んで治療していくだけです。国は療養病棟患者さんの何割かを在宅療養に切り替えていたりですが、外国と違い、今の日本は核家族化や共稼ぎなどで在宅が療養する環境にないことは衆目の一致するところであり、また、在宅医療システムも全く不十分だと言わざるを得ません。したがって、患者さんによっては國の方針より優先されることもあり得ると思います。

私たちは患者さんにご迷惑をかけることがないように、ジェネリック薬品の採用など國の方針に協力できるところは協力し、無駄を省いて病院が存続できるように努力したいと思います。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 目次

- 1P…2016年度、美山病院の進むべき道
- 4P…新採用者紹介
- 6P…タオル帽子寄贈/地元のラジオに出演
- 8P…はじめてのエンゼルケア「2回」

- 2P～3P…新所属長の抱負
- 5P…就職を振り返り感謝と後輩へエール
- 7P…看護の日

## 新所属長の抱負



事務長代理  
佐々木辰一

### 所属長の抱負

事務長代理 佐々木辰一

今年度の診療報酬改定に伴い、収益を検討する上で、また、原価や経費を検討する上でも苦悩の多い2年間になる事が想定されます。

簡易に「新規加算算定」や「経費節約」と口にする上でも分析や見通しといった1歩先や2歩先を読む力が必要となり、管理体制はどのようにしていくかなど、周りの職員の協力が必要となってきます。

総務課は「何でも屋」であり、同時に管理をする課でもあります。迅速な対応はもちろんですが創意工夫や現状をふまえた上でよりBetterな返答が出来るよう、私自身の足りない経験を日々の勉強を重ねながら努めていければと考えています。

また、この役職に就かなければ経験できないことを「目で見て」「耳で聞いて」「手で触れて」その感じた体験を通して自分自身『一步前へ』進むことが出来ればと考えています。



病棟師長  
小林洋子

### 緩和ケア病棟 平成28年度目標

病棟師長 小林洋子

#### ○緩和ケアの看護の専門性を高め、

#### 根拠に基づいたケアの提供が出来る

緩和ケア病棟は、がんによる痛みや息苦しさ等の様々な体の苦痛と、がんと向き合うことによる気持ちの辛さに対して患者さん、ご家族の支援をさせて頂きます。他職種と連携を図りながら、お一人お一人の大切な日常を保つこと、そして最期まで「生き切る」ことへのお手伝いをさせて頂きますよう、ケアの質向上と寄り添う姿勢を大切にしてより良い看護の実践に努めています。



『病院の周りを沢山の桜で包んで頂きました』

ここ数年、鳥による被害で満開を観られませんでしたが、**今年は最高！！**





主任理学療法士  
佐藤洋之

## 平成 28 年度リハビリテーション科目目標

主任理学療法士 佐藤洋之

現在、質の高いリハビリテーション・早期回復の推進の考えのもと早期在宅退院・地域包括ケアシステムの推進されている。今後は在宅部門（訪問リハビリの再開等）も視野に入れていきたい。



### 〈目標〉

- 1、機能訓練にとどまらず人ととの関わりを提供する
- 2、生活につながるリハビリを目指す

目標に向けての具体的な行動としては、

「院庭の桜を鑑賞しました」

- ・リハビリ対象の生活像を含めた情報収集・他職種との情報交換を密に行う
- ・必要度に合わせたリハビリ提供に向けて知識・技術の研鑽
- ・将来的に訪問リハビリの再開に向けて業務の見直し・効率化を図り必要なマンパワー確保する



副主任放射線技師  
堀口信生

「協調体制で臨むことを強調してやります」

### 心構え

当科は一人体制なので、他部署との連携を図り情報を共有し患者さんに安心して検査が受けて頂くようにしていきたいと思います。

### 特に注意する点

- ・病院の方針を理解し職務に当たります
- ・一人ひとりの患者さんに対して丁寧な対応を行います
- ・精度の高い検査を行い診療の側面から支援します
- ・診療放射線技師として自己研鑽を怠りません

# 新採用者紹介

平成27年12月～28年6月に新採用された皆さんです。

## 【リハビリテーション科】

	
<p>理学療法士 小野寺 亜弥  体は少し衰えましたが、気持 はフレッシュに頑張ります  宜しくお願いします。</p>	<p>理学療法士 吉水 麻衣  理学療法士として入職し、ご 迷惑をかけることもあると思 いますが、精一杯頑張ります。</p>

## 【栄養科】

	
<p>栄養士 高橋 円香  緩和ケア病棟を担当してい ます。宜しくお願いします。</p>	<p>調理師 川口 香奈  思いやりやコミュニケーション の大切さを大事にし、初心を忘 れず日々頑張って行きます。</p>

## 【看護科】

			
<p>看護師 菊池 のどか  精一杯がんばります。 よろしくおねがいします。</p>	<p>看護師 佐藤 佑果  迷惑をかけることと思いま すが、頑張っていきますの で、宜しくお願い致します。</p>	<p>看護師 山崎 恭葉  患者さま一人ひとりを大切 にがんばります。</p>	<p>看護師 伊藤 直樹  北の大地 北海道から來ました。岩手 県民1年生です。今までの経験を活か して明るく元気に頑張ります</p>
			
<p>看護師 佐藤 淑圭  患者さんの気持ちに寄り添 った看護が出来るように精 一杯頑張ります。</p>	<p>看護師 廣瀬 智香  早く業務に慣れるよう頑張 ります。笑顔を忘れずに元気 よく働きたいと思います</p>	<p>看護師 富山 留美  一生懸命頑張ります。 よろしくお願いします。</p>	<p>看護師 早坂寿子  患者さんに寄り添い、ニーズ に応える看護を行います。 宜しくお願いします。</p>

## 就職を振り返り、感謝と後輩へエール



1年間を振り返り、私はまだまだ一人前として未熟で先輩方に迷惑をかけてしまっているところがあります。私なりに作業を頑張り、自分の技術をさらに磨いて少しでも役に立てるように、これからも頑張っていきたいです。

調理師 本明芳紀



当院で勤務するようになって1年になります。始めは新たな環境で仕事をすることに不安もありましたが、優しくご指導して下さる先輩方のサポートのお蔭で乗り越えることが出来ました。分らないことは直ぐに聞くことができ、抱え込まずに前進できます。

看護師 佐々木久里佳



昨年の今頃は、不安な気持ちで一杯でしたが、1年経った現在、楽しく仕事が出来ているように感じます。まだまだ未熟・未経験なことが多いあるので、初心を忘れず様々な事を積極的に学んでいきたいです。

看護師 宮戸麻里奈



1年目は覚えることも多く、毎日勉強の日々でした。先輩看護師やプリセプターさん、患者さんやご家族からたくさんのこと学ぶことができました。2年目からも感謝の気持を忘れず頑張っていきたいと思います。

看護師 渡辺優希



美山病院に入職し、1年が経ちました。ブランクがあっての復帰だったので心配もありましたが、先輩方のご指導のお蔭もあり一通り仕事が出来るようになった気がします。大変な事もあると思いますが優しい先輩ばかりなので皆さんと一緒に頑張りましょう。

看護師 菅原美希



自分が興味を持っていた終末期の患者さんやご家族と関わったことが最も貴重で印象的な経験となりました。患者さん先輩方には様々な学びや経験をさせていただきとても感謝しております。

今年度も目標を持ち少しずつでも日々成長していく様に頑張っていきたいです。 看護師 山内美佳



あっという間に時が過ぎ看護補助の仕事は初めてで毎日不安でしたが、優しい先輩方に支えられ、ご指導いただきながら努める事ができ、患者様の素敵なお顔に会えるこの仕事にもっと早く就く事ができていたら・・・と思っています。これからも日々勉強！ 一生懸命頑張ります 看護補助者 藤野博子



入職して1年5ヶ月経とうとしています。施設での介護経験はありましたが、病院での勤務は初めてだったので、不安だったのを覚えています。業務内容は違いますが、『患者さんのために』という思いは同じでした。職場環境の良さにあらためて感謝しています。

看護補助者 清水川えりか

## 『葉っぱの会』よりタオル帽子 30 枚寄贈

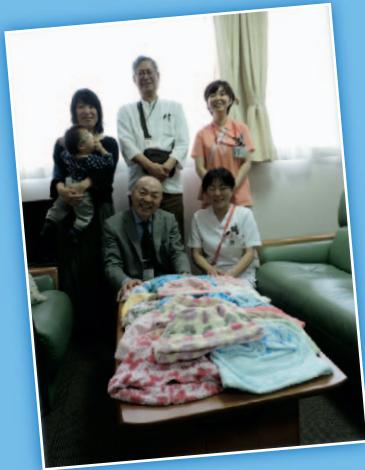
平成 28 年 4 月 14 日 AM 11:00 ~

県内の女性自営業者でつくる会『葉っぱの会』の皆様が丹精こめて作って頂きました帽子 30 枚を頂戴しました。

とても色鮮やかで、手触り感が良く、きっと使われる方はとても気持ち良くて喜ぶ顔が想像できます。

大事に患者さん方に使わせて頂きます。本当に有難うございました。

会名の「葉っぱ」は植物に例えるとやっと双葉が出た状態という意味と、いつかは花を咲かせたいので自分自身に「発破」をかけるという韻も踏んでいます（ホームページより）



葉っぱの会の方と一緒にパチリ  
及川院長、千葉事務長、佐藤総看護師長  
小林緩和ケア病棟師長

### 『フェイスタオルのご寄付のお願い』

タオル帽子に関連して、全国に発送している岩手ホスピスの会があり、帽子を作るためのタオルの寄付を募っております。

ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しているということです。  
できましたらご家庭で眠っているタオルがありましたら下記宛にご寄付の協力をお願い致します

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛

タオル帽子専用携帯 080-1658-1762

# 看護の心を みんなの心に

## 奥州エフエム番組「看護のチカラ」のコーナーに出演 体験談を語る

平成 28 年 5 月 9 日午前 11 時から放送 緩和ケア病棟師長 小林洋子

今回、ラジオで看護についてお話しする機会を頂き、看護師になった理由、看護師になって良かったこと、印象に残っていることなどをお話ししました。話をしながら、看護師という仕事に対する自分の考えが整理でき、初心に戻ることができました。

これまで多くの患者さん、ご家族と出会いました。

出会いを通して、人と人との関係性の中で展開される看護は、看護師がお世話をするといった一方的なものではないと感じています。患者さんやご家族に教えて頂く事、力をもらうことが多いです。現在は、緩和ケア病棟で勤務しております。力が及ばず、無力感を感じることもありますが患者さん、ご家族にご飯が食べられた、外の空気が美味しいと笑顔や安堵した表情を見せて頂けることが、看護師を続ける大きな力になっています。あるご遺族から、療養されていた時期が今は楽しかったなあと思えるという言葉を頂き、とても心に残っています。一緒に頑張りましたよねと同志のように声をかけて頂けたような気持ちになりました。お世話する側、される側ではなく病による様々な困難を、一緒に乗り越える良きパートナーとして、患者さん、ご家族に寄り添える看護師を目指したいと思います。



# 看護の日



**日 時** 平成28年5月12日(木) 10:00~15:00

看護週間をアピール

**目 的** 看護の日に地域の学生を受け入れ、美山病院での看護体験を通じて将来の進路の参考支援を行う



**体験学生** 胆江地区の高校2年生6名が参加する

## 体験内容

「如何ですか？」

### ～患者さんの気持ちを 身をもって理解するために～

#### 「日常生活の援助体験」

- ・髭剃りや口腔ケア
- ・食事の配膳、下膳
- ・食事介助
- ・手浴、足浴など。



#### 「患者さん側としての身をもって体験」

患者さんとして疑似体験中・・・

- ・車いすによる操作体験
- ・心電図モニター・血圧測定
- ・ストレッチャーに乗って移動体験
- ・ベッド上で起こされる時の安楽な体位 など。

食事のお世話や手足を洗ってあげて、感謝されるという気持ち感じたり、  
実体験で患者さんの不安な部分を知る体験をして頂きました。

その他にも患者さんとお話ししたり、見学を含め1日の看護師の仕事を見たり  
聞いたりして頂きました。実際、看護師の仕事に興味を持たれ、学ぼうという  
姿勢が伝わってきて、とても良かったです。**看護師を目指してガンバレ！**



明日の医療界を担って飛び出せ！ 学生達



「是非一緒に働く」

# はじめてのエンゼルケア

緩和ケア病棟 主任看護師 戸巻礼子

私がエンゼルケアにこだわり、今でも勉強し続けているきっかけとなった初めてのエンゼルケアについてお話したいと思います。

それは今から7年前の平成21年。エンゼルケアの研修を受けた時、私達が今まで良かれと思って行ってきた処置が、その後信じられないような変化を起こしていたことを研修で知りました。これは、是非伝えていかなくてはと強く感じました。

しかし、具体的にどのようにご家族に声をかけたらいいのかわからず不安を抱えたまま時間が過ぎ、ついにその時がやってきました。その方は80代の女性でした。がんの痛みがなかなか取りきれず、苦しそうな表情のままお亡くなりになりました。病室には娘さんやお孫さんが詰めかけており、医師の「ご臨終です」の言葉のあと、病室内は悲しみですすり泣く声しか聞こえませんでした。ベッドに横たわっているその方の姿は、髪が汗でべとべとなっており、せめて体だけでも気持ち良い姿でお帰りになっていただきたいと思いました。

そこで私は「なかなかお風呂にも入れなかったので、髪の毛をシャンプーしてもいいですか？」と自然にご家族に声を掛けていたのです。娘さんたちは「そんなことしてもらえるんですか？」とびっくりされた表情でしたが、ご家族と一緒にシャンプーや手浴足浴をしていく中で病室はいつしか石鹼のいい香りに包まれていました。お顔のマッサージを行なったあと、保湿をすると苦しそうな表情が穏やかになり、その姿を見てご家族も「やっと楽になったんだね。」「私より化粧ののりがいいじゃない。」と冗談を言えるくらいご家族の表情も明るくなりました。まさに、今まで経験したことのない光景でした。

この時、ご家族に喜んでいただけた経験こそが一人でも多くの人にエンゼルケアを知っていただきたいと思ったきっかけであり、原動力になっています。《次回9月号に続く》



## 地域医療連携室

担当

連携室長 平野美恵

主任相談員 小野牧子

TEL (0197) 24-2141

地域の医療機関との連携を強化し、患者さんのよりスムーズな受診、治療、医療相談（退院後の受け入れ）に努めます。